

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的長期研修】

受託団体名 NPO 法人宇都宮市国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

- (1) 既存日本語教室の日本語支援ボランティアのレベルアップと実践的手法の修得。
- (2) 登録団体及び近隣市町ボランティアとの情報交換。
- (3) 小中学校における外国人児童・生徒への支援のあり方。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
9月5日 11:30-2:30	栃木県庁 14F ミー ティング コーナー	村田 孝 山口由紀子 鈴木律子 成原文子	1、長期研修内容方法の確認 2、研修スケジュール立案 3、外部講師リストアップ と研修依頼内容検討	1、文化庁提出業務画書に添い 計画書を作成。 2、外部講師2名決定。 3、実習は1日2時間単位で 10回20時間とする。
9月16日 10:00-12:00	国際交流 プラザ	村田 孝 山口由紀子 鈴木律子 櫻井宏美	1、研修スケジュール確認。 2、外部講師折衝。 3、企画委員業務分担の 明確化。	1、外部講師3名確定。 2、実習見学日本語教室調整。 3、外部企画委員との連携。 (宇大:廣瀬教授、田巻教授。 作新学院:金子講師)
9月22日 1:30-3:30	国際交流 プラザ	村田 孝 山口由紀子 鈴木律子 成原文子 櫻井宏美	1、研修スケジュール最終 調整。 2、内部コーディネーター 研修テーマ検討。 3、各研修項目の主題検討。	1、10/18,11/25 スケジュール変更。 3/12 最終日変更。 2、外国人日本語修得体験発表 を3/9に入れる。 3、内部講師のテーマ決定。
9月28日 10:30-12:30	国際交流 プラザ	鈴木律子 成原文子 臼井佳子 櫻井宏美 村田 孝	1、研修項目の確定。 2、他地区支援活動団体への 参画依頼。 3、案内状内容の検討。	1、研修期間の延期検討。 2、他地区2団体の参画決定。 3、情報交換会パネラーに 宇大:小池名誉教授に依頼 4、内部講師名の確定

10月8日 2:00-4:00	国際交流 プラザ	村田 孝 山口由紀子 鈴木律子 成原文子 臼井佳子	1、研修参加申込状況確認。 2、講師、コーディネーター、 司会者の確定。 3、研修形態別開催要領作 成。	5、案内状発送、配布。 1、10/8 現在申込 20 名。 2、研修テーマの変更確定。 3、宇大:廣瀬教授の参画依頼。 4、開催要領内容承認。
10月15日 2:30-4:00	国際交流 プラザ	村田 孝 山口由紀子 鈴木律子 成原文子 臼井佳子	1、研修参加者増減確認。 2、研修日別企画委員役割 分担・出席日確定。 3、10月、11月研修開催 要領修正確認。 4、経費予算の修正調整。	1、研修参加者 10 名増。 2、外部講師に対する確認 文書発行。 3、研修受講者に対する徹底 事項と伝達法。 4、旅費は実費を超えない概算 一定額とする。
10月25日 3:00-4:30	国際交流 プラザ	村田 孝 山口由紀子 鈴木律子 成原文子	1、研修開始に伴う反省と 課題解決 2、次回以降の研修内容の 検討・修正	1、会場の拡大(会議室借用) 2、2/21,2/28 の時間帯変更 3、3/7 外国人の日本語修得 体験発表者調整

3 研修講座の内容について

- (1) 研修講座名 「会話から始める日本語教室」支援ボランティア研修
- (2) 研修の目標 日本語教室ボランティア支援者の能力向上を目指す。
- (3) 受講者の総数 40人
- (4) 開催時間数(回数) 60時間 (24回)
- (5) 参加対象者の要件 ①国際交流協会日本語3教室支援ボランティア
②日本語教え方教室受講者
③近隣市町日本語ボランティア支援活動者
④小中学校派遣日本語支援ボランティア
- (6) 受講者の募集方法 ①交流協会機関紙「情報スクランブル」(正式報告書時添付)
②交流協会日本語委員会案内書郵送
③日本語教え方教室受講者手渡し
④近隣市国際交流協会案内書郵送
⑤前回研修参加者非協会委員宛郵送
- (7) 研修会場
ア 講義 宇都宮市国際交流プラザ懇話室
イ 実習 ①宇都宮市総合福祉センター、②宇都宮大学金子教室

③今泉小学校、④宇都宮大学吉田教室、

⑤宇都宮市東コミュニティセンター

(8) 使用した教材・リソース ①みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ。

②各講師作成パンフレット

(9) 講座内容

支援ボランティア能力向上研修日程及び研修項目表（修正版）

研修日	時間	研修会場	研修テーマ	講師/進行	形態・ 人員数
10/25(土)	PM1:00～ 3:00	プラザ懇話 室	小山地区活動者との情報交換会 地区とのかかわり方と具体的活動の現状と課題	コーディネー ター 山口由紀子	C 14名
11/1(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室	外国人が望む生活支援・学校教育支援とは何か 及び学校支援ボランティアの現状	宇都宮大学 廣瀬教授	A 18名
11/6(木)	PM6:00～ 8:00	宇都宮市 総合福祉 センター	日本語教室見学実習（見学ポイントは？）。 1時間見学、1時間感想と討議	随行者 (村田)	D 8名
11/8(土)	PM1:00～ 3:00	プラザ懇話 室	日本語教室体験に基づくディスカッション。 現状ボランティア支援者の悩みと解決策	グループ討議 成原・鈴木	D 18名
11/15(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室	日本語支援初期段階での課題と導入手法。 教材・副教材及び小道具の選び方使用手法の討議	コーディネー ター 人見よし子	B 15名
11/22(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室及び 会議室2	外国ルーツの大人に対する日本語指導のあり方	国際交流基金 三原講師	A 17名
11/29(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室	外国ルーツの児童生徒に対する日本語指導のあり方	宇都宮大学 金子講師	A 25名
12/6(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室	レベルに応じた教材と教え方実践。	コーディネー ター	B

			形容詞、動詞の導入法と実践的手法の討議	鈴木律子	14 名
12/8(月)	PM12:50 ～2:50	宇都宮大 学	宇大金子日本語教室（中級）見学実習	随行者 (成原)	D 17 名
12/13(土)	PM1:00～ 3:00	プラザ懇話 室	日本語教室見学に基づく実習ディスカッション及び 11/22,11/29 講義時の課題解決法と手法	グループ討議 鈴木・村田	D 14 名
12/20(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室及び 会議室2	外国ルーツの大人に対する日本語指導のあり方	国際交流基金 三原講師	A 18 名
1/10(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室及び 会議室2	外国ルーツの児童生徒に対する日本語指導のあり方	宇都宮大学 金子講師	A 24 名
1/15(木)	AM10:30 ～12:30	宇都宮大 学	宇大吉田日本語教室（初級）見学実習	随行者 (成原)	D 10 名
1/17(土)	PM1:00～ 3:00	プラザ懇話 室	日本語教室見学に基づく実習ディスカッション及び 12/20,1/10 講義時の課題解決法と手法	グループ討議 成原・鈴木	D 10 名
1/24(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室及び 会議室2	多文化共生と地域の日本語教育	早稲田大学 宮崎教授	A 23 名
1/31(土)	PM1:00～ 5:00	プラザ懇話 室	日本語教育の基礎及び各地区の実態紹介。 地区運営の課題と解決策ディスカッション	宇都宮大学 小池名誉教授	C 15 名
2/4(水)	AM10:30 ～12:30	今泉小学 校	ふれあい日本語教室見学。 2 人クラス1 時限、 1 人クラス1 時限各々見学。	随行者 (人見・村田)	D 7 名
2/7(土)	PM1:00～ 4:00	プラザ懇話 室	敬語の導入法実践的手法のディスカッション 外国人がよく間違える日本語使用	コーディネー ター 鈴木律子	B 24 名
2/12(木)	AM10:00 ～12:00	東コミセン	友の会日本語教室見学。 1 時間見学、1 時間感想と討議	随行者 (村田)	D 4 名
2/14(土)	PM1:00～ 3:00	プラザ懇話 室	ふれあい日本語教室見学実習ディスカッション	グループ討議	D

			日本語教室支援カリキュラム	成原・鈴木	13 名
2/21(土)	PM1:00～ 3:00	プラザ懇話 室	初歩的用語の実践的導入手法および 文字、漢字の初期導入法	コーディネー ター 眞田和子	B 19 名
2/28(土)	PM1:00～ 4:00t	プラザ懇話 室及び 会議室2	栃木の草分け「いっくら」と市協会日本語部会 の始まりと基盤整備。 鹿沼グローバルと宇都宮ひまわりサロン意見交換	いっくら会 長門会長 グローバル 山本会長	C 18 名
3/7(土)	PM1:00～ 3:00	プラザ懇話 室	宇都宮在住外国人の日本語修得体験発表と 意見交換。 外国人から見た日本語教室。	コーディネー ター 鈴木律子	B 15 名
3/12(木)	AM10:00 ～12:00	プラザ懇話 室	日本語雑学講義と知識テスト。 研修成果発表及び 修了式。	コーディネー ター 村田 孝	D 11 名

研修形態	A：外部講師講演による講義研修 B：内部コーディネータによる各種導入手法・実技研修とディスカッション C：他地域活動者との情報交換・ディスカッション D：日本語教室見学会および実習ディスカッション
------	---

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- 普段聞けない有名外部講師の話が聞けた。
- 実践的な手法を経験豊富な内部講師から学んだ。
- 実際の日本語教室を見学しプロの手法が体験できた。
- 他地区の活動に学ぶ所が多く、進んでいるのに感心した。

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ボランティア支援初心者の能力向上が図れた。
- 内部講師による実践的研修が自力で可能となった。
- 5ヶ月に亘る長期研修をやり遂げ、日本語委員会評価を高めた
- 他地区の活動を知ることにより、自組織の今後の方向付けが出来た。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- 土曜午後・月曜夜の日本語教室の新設。
- 夏休み児童生徒日本語特別教室の開催。

- c)小中学校出前教室の増設(10校から15校へ)
- d)既存日本語教室学習者募集方法の新提案。(外国人直送方式)
- e)研修修了者からのボランティア支援者への勧誘。(10人目標)

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- 1)いっくら国際文化交流会(宇都宮市)の在住外国人・留学生および親子支援事業日本語指導支援者と市国際交流協会日本語教室支援者とのボランティア相互派遣。
- 2)宇都宮商工会議所チチハル研修生受入事業に対する短期集中日本語指導に参画とボランティア支援者派遣。

② 研修後の人材活用

- 1) 上記(10)③記載 a)土曜午後・月曜夜新設日本語教室、b)夏休み児童生徒特別日本語教室、c)小中学校出前教室増設校に対するボランティア支援者として新規活用。
- 2) ベテラン支援者の協会内小規模研修会内部講師として活用。
- 3) 他事業との連携に伴う実行企画委員として活用。

(12) 今後の課題

- ① 組織力によるボランティア支援体制の確立。
- ② 支援初心者に対する能力向上と継続性フォロー。
- ③ 指導マニュアル、対象者別カリキュラム及び独自教材制作。
- ④ 国語以外の教科(理科、社会)に対する学習指導の是非。
- ⑤ 魅力ある活動コミュニティー作り。